

まちのきこり人育成講座第2回活動報告

作成 清水 環 平成 25 年 4 月 17 日(火)

1. 開催場所 : 菰野町まなびの森
2. 開催日 : 平成 25 年 4 月 13 日 (土) 午前 8 : 30~15 : 30
3. 講座参加者 : 13 名 (欠席者 3 名)
4. 講師 : 三重大学医学部付属病院 認定看護師 水谷しづよ 先生
5. 会員 : 櫻井、大石、上林 (東芝の森)
松永、南条、瀧口邦、瀧口朱、清水

9 : 00~11 : 00 : 座学

昨年の第 2 回育成講座で、山中での実践講座だけだと定着が覚束なかったとの反省から、今年は座学と実践の 2 本立てとなりました。

熱中症、注意する生き物、刃物による創傷、骨折の固定法、心肺蘇生などは例年通りの内容ですが、会員にとっても、安全喚起のため 1 年に 1 度は必要で大変重要な機会です。先生はいつも基本的なことを確認し新しい情報を調べてわかりやすく伝えてくださいます。

今回は救援を待つ間や搬送時の注意、森林環境教育の機会が増えているので子どもたちへの傷病処置といった内容も加えていただきました。



11 : 00~12 : 00 : BLS (Basic Life Support = 一次救命処置)

人工呼吸と肋骨圧迫 (最近では心臓マッサージとは言わないようです)、AED を使った心肺蘇生の実践を行いました。

参加者の方からは、これまでは手が出せそうもなかったけれど、これからはもしもの時に実践できそうだとのお声をいただきました。人工呼吸は抵抗がある場合しなくてもよい、AED のない森の中ではとにかく一時も休まず肋骨圧迫を続けることだそうです。



13 : 00~14 : 00 : 森で使用する道具の使い方と危険

代表 1 名で、森林施業時の装着物 (新品!) の試着会。施業で使用する様々な道具の使用法と起こり得る危険を説明し、「道具には危険がつきもの」と認識新たにしたいだけだった様子でした。

14 : 00~14 : 45 : 森の中でさあたいへん!

「マムシにかまれました!」「骨折しました!」と会員が扮し、参加者の方に午前学んだことを早速実践していただきました。どの班も「的確な対処でした」と先生にお褒めの言葉をいただきました!



14 : 45~15 : 00 : まとめ

のどかなお天気のもと、お茶をしながら発表をして終わりました。